





港湾空港技術研究所の構造研究チームと材料研究チームの最近の話題を紹介します。

| | |
|---|-----------------------------|
| 研究 | 港湾施設の維持管理計画策定支援プログラム |
| <p>このプログラムは、施設の点検診断結果の入力、点検診断結果から評価される部材の保有性能とその将来予測、その結果に基づいて実施する対策工の選定、定期点検診断計画の策定という流れで構成されています。これまで、新設および既設を対象とした栈橋版と鋼矢板式係船岸版を開発しており、今年度は重力式係船岸版を開発する予定です。詳細は、構造研究チームまでお問い合わせ下さい。</p> | |
|  | |

| | |
|--|---------------------------------------|
| 研究 | 電気防食を適用した港湾鋼構造物の海底土中部の防食電流密度評価 |
| <p>港湾鋼構造物の海中部と海底土中部には電気防食が適用されます。海中部における電気防食特性については実態が明らかになりつつありますが、海底土中部については、調査事例も少なく、実態が明確でないのが現状です。そこで、電気防食工業会との共同研究により、海底土中部の防食特性の実態を明らかにするため、羽田空港 D 滑走路の連絡誘導路部の単杭部において、防食電流密度の連続モニタリングを実施中です。結果は、追って報告します。</p> | |
|  | |

| | |
|--|-----------------------------|
| イベント | 「海洋鋼構造物の防食技術」出版記念講演会 |
| <p>構造・材料ニュース Vol. 3 で紹介した「海洋鋼構造物の防食技術」出版記念講演会を、5/31 に、国総研の研修センターにて開催しました。当初の予想をはるかに上回る参加者数（233 名：研修センターでの最高記録！）となり、大盛会のうちに終わることができました。ご講演いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、講演会運営にご協力いただいた関係各位に、改めてお礼申し上げます。</p> | |
|  | |

| | |
|---|------------------------|
| 海外 | CONSEC '10 参加報告 |
| <p>6/7～9 に、メキシコのメリダ市で開催された CONSEC' 10 に、審良が参加し、次頁の「最新の成果発表」の(4)の論文について口頭発表しました。自然電位または分極抵抗によるコンクリート中の鉄筋腐食診断技術はある程度確立されていますが、診断精度の向上のためには、まだまだ課題が残されていると考えていますので、引き続き検討していきます。</p> | |
|  | |

| | |
|--|----------------------------|
| 受賞 | 日本港湾協会、土木学会、JCI から表彰されました。 |
| <p>○ 日本港湾協会 論文賞 加藤絵万、岩波光保、横田弘：「栈橋のライフサイクルマネジメントシステムの構築」</p> <p>○ 土木学会 吉田研究奨励賞 川端雄一郎：「材料劣化に伴うコンクリートの変状過程解明への光学的全視野計測の展開」</p> <p>○ 日本コンクリート工学協会 奨励賞 審良善和：「コンクリートの塩化物イオンの拡散係数予測の高精度化に関する研究」 松林卓（前研修生）：「繰返し衝撃荷重を受ける鉄筋コンクリート部材の耐衝撃性能評価に関する研究」</p> | |

最新の成果発表

| | |
|-----|--|
| (1) | 増田和広、審良善和、岩波光保、柳嶋慎一、阿部正美、清水一夫：海洋・港湾鋼構造物における最近の腐食事例、防錆管理, Vol. 54, No. 5, pp. 24-29, 2010. 5. |
| (2) | 審良善和、岩波光保、根本正幸、吉田倫夫、伊藤忠胤、杉岡享、田代賢吉：海底土中における流電陽極の長期性能評価のための基礎実験、材料と環境 2010 講演集, A-106, pp. 43-46, 2010. 5. |
| (3) | H. Yokota, E. Kato, and M. Iwanami: Simplified assessment on structural performance of deteriorated concrete members, Proceedings of the 7th International Conference on Fracture Mechanics of Concrete and Concrete Structures, Jeju, Korea, pp. 874-879, 2010. 5. |
| (4) | Y. Akira, M. Iwanami, T. Yamaji, Y. Shimazaki, and M. Ishinaka: Electrochemical behavior of steel bar in concrete under tidal environment, Proceedings of the 6th International Conference on Concrete under Severe Conditions (CONSEC' 10), Merida, Mexico, Vol. 1, pp. 183-194, 2010. 6. |
| (5) | 加藤絵万、岩波光保、横田弘：栈橋のライフサイクルマネジメントシステムの構築、海洋開発論文集, Vol. 26, pp. 147-152, 2010. 6. |
| (6) | 岩波光保、加藤絵万、川端雄一郎：港湾施設のアセットマネジメントの試行例、海洋開発論文集, Vol. 26, pp. 201-206, 2010. 6. |
| (7) | 審良善和、濱田秀則、山路徹、中野松二、岩波光保：産業副産物を有効活用したコンクリートの海洋構造物への適用に関する研究、海洋開発論文集, Vol. 26, pp. 1035-1040, 2010. 6. |
| (8) | 山路徹、濱田秀則、水間誠治、山本俊彦：海洋環境下におけるステンレス鉄筋の耐食性に関する研究、土木学会論文集E, Vol. 66, No. 2, pp. 207-220, 2010. 6. |

メンバー紹介

| | 氏名 | 役職 | メールアドレス | 好物 | 今月のひと言 |
|----|--------|---------|--------------|--------|---------------------------|
| 構造 | 岩波 光保 | チームリーダー | iwanami@ | カレーライス | ぼくら梅雨の子。 |
| | 加藤 絵万 | 主任研究官 | katoh-e@ | しゃぶしゃぶ | Coolish がおいしい季節になってきましたね。 |
| | 川端 雄一郎 | 研究官 | kawabata-y@ | 甘いもの | 脱デブ宣言 |
| | 土田 百佳里 | 派遣職員 | tsuchida-y@ | 浴衣男子 | 花火大会・東京湾納涼フェリーが待ち遠しい。 |
| 材料 | 山路 徹 | チームリーダー | yamaji-t@ | 釜焼きそば | 1 か月で球速が5km/h(推定)アップしました！ |
| | 審良 善和 | 研究官 | akira@ | 夏はビール | 結婚しました (^o^)/ |
| | 小林 浩之 | 依頼研修員 | kobayashi-h@ | ラーメン | お酒が美味しく飲めるようになりました。 |

※ メールアドレスの@以降は、pari.go.jp です。

| | | | | |
|-----|-----|---|-----|--------------|
| 連絡先 | 住所 | 〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬 3-1-1 | | |
| | 電話 | 046-844-5059 | FAX | 046-844-0255 |
| | URL | http://www.pari.go.jp/bsh/jbn-kzo/kuzo/kozo/index.html | | |

編集後記：梅雨真っ只中ですが、このニュースを読んで、重苦しい天気を吹き飛ばしましょう。バックナンバーはHPに掲載しています。